

地域政策学部地域政策学科のディプロマ・ポリシー

地域社会やその関連する領域において、さまざまな地域の関係者とコミュニケーションをとりながら協力・協働し、企業や自治体、社会などの問題解決と地域の自律的・持続的発展に寄与することのできる人材として、次の能力を身につけた者で、定められた年限在学し、所定の単位を修得した者に学士(地域政策学)の学位を授注します。

1. 知識・理解

社会科学・人文科学系の学問領域を中心として幅広い知識を修得し、それらの知識を活用しながら、地域の諸課題について多面的に理解することができる。

2. 思考・判断

世界、そして日本全体の政治・社会・経済の動向を見据え、多様な知識を融合・活用しながら、地域の諸課題に対する解決策を構想することができる。

3. 態度・実践

地域の自律的・持続的発展に向けた政策構想について、倫理的妥当性と実現可能性、そして地域社会との協働を視野に入れた議論を展開することができる。

4. 技能・技術

地域の諸課題について、多様かつ広範な視点から調査・考察し、その成果を、自律した個人として、他者に分かりやすく、論理的に発信することができる。

地域公共コースのディプロマ・ポリシー

生活圏である地域の持続と発展、そして人々の共生のために課題の解決策を立案できる人材として、次の能力を身につけた者で、定められた年限在学し、所定の単位を修得した者に学士（地域政策学）の学位を授与します。

1. 知識・理解

法、政治・行政、社会の領域を中心として、幅広く知識を修得し、それらの知識を活用しながら、公共的な諸課題を構成する事象について多面的に理解することができる。

2. 思考・判断

生活圏である地域の持続と発展、そして人々の共生に向けて、法、政治・行政、社会の領域と政策、環境、経済、経営等の多様な領域の知識を融合・活用しながら、公共的な諸課題に対する解決策を構想することができる。

3. 態度・実践

自由、人権、法の下での平等、公正、多様性の尊重、平和等の規範的概念を適切に運用し、地域社会の多様なステークホルダーと協働しながら、多様な課題に関して公共の見地から議論を展開することができる。

4. 技能・技術

多様かつ広範な事実認識に立脚しながら、課題について考察し、その成果を、自律した個人として、公共の見地から発信することができる。